

## シークレットモード・ゲストモード

JJ1SXA/池


シークレットモードは、2005年4月に初めてブラウザ「Safari 2.0」に「プライベートブラウジング」として登場、2008年12月「Google Chrome 1.0」に「シークレットウィンドウ」として、2009年3月「Microsoft Internet Explorer 8.0」に「InPrivate ブラウズ」としてそれぞれ搭載されたようです、歴史は古く、その存在は知っていたが、利用する機会はありませんでした。

だが、最近、今更ながら、この機能は大いに利用すべき機能であることに気づき、勉強しました、例により、勉強結果の備忘録は TWO-FORTY 誌の原稿です。


Google Chrome の「シークレットモード」も Microsoft Edge の「InPrivate ブラウズ」も、呼び方は違うが機能的に同じものだ、ちなみに、Safari では「プライベートブラウズ」、Firefox では「プライベートブラウジング」と呼んでいる。

インターネットで情報を調べたりする際に、ページの履歴や閲覧時間などのデータが残りますが、履歴データを残したくない場合などにシークレットモードを利用することで、検索したデータを保存させない仕組みになっています。

他のユーザーが自分のパソコンを使う時(自分のパソコンを他人に使わせる時)、または自分が他のユーザーのパソコンを使う時(他人のパソコンを借りて使う時)や 図書館やカフェなどにある公共のパソコンを使う時に有効な手段です。

Google Chrome で「シークレットモード」を使うには、Chrome を開き、キーボードショートカットキー「Ctrl」+「Shift」+「N」を押すと新しいウィンドウが表示されます、上部の隅にシークレットアイコンがあれば、シークレット モードになっています。

シークレット モードを終了するには、シークレット ウィンドウを閉じれば OK。(右上の「×」をクリック)

Microsoft Edge で「InPrivate ブラウズ」を使うには、Edge を開き、キーボードショートカットキー「Ctrl」+「Shift」+「N」を押すと新しいウィンドウが表示されます、上部左隅の「個人アイコン…」に InPrivate の文字が加わっていれば「InPrivate モード」になっています。

**InPrivate ブラウズを解除するには**、右上の「…」をクリック、「新しいウィンドウ」をクリック、これで通常モードに戻ります。

尚、Google Chrome にも Microsoft Edge にも、「シークレットモード」や「InPrivate モード」より若干、機能が縮小された「ゲストモード」というものもあります。

「シークレットモード」も「InPrivate モード」も難しいことは何も無く、簡単に使えた、以前は使うのは難しいだろうと、全くの「喰わず嫌い」だった、Windows には、他にもまだ色々の機能があるでしょう、折角の機能、使わなければ勿体ない！

(2025年1月記)